

1、概要

26年度は①当館の移転作業、②移転式典・落慶法要・祝賀会、③法隆寺歌碑建立除幕式—という3大行事を実施した。

(移転作業) 前年度から会議を数十回、フロア全体の利用方法や設備と配置の検討を重ねた。旧館最後の春季企画展の後、5月28日から20日間かけて移転を完了させた。

(移転式典) 7月31日に①記念館の館碑移設除幕式②落慶法要③祝賀会④8月1日の八一祭として文芸講演会—を連続的に実施した。落慶法要には奈良から東大寺、興福寺、唐招提寺、薬師寺、法隆寺、中宮寺、京都から京都仏教会、大徳寺松源院、地元から新潟県仏教会と、大僧正はじめ総勢13師が勢ぞろいし、館の前途を祈願していただいた。

(法隆寺歌碑) 11月7日は會津八一生前の悲願だった法隆寺に歌碑を、五重塔の近くに建立除幕した。同時に原家歌碑を同家の要請に応え、法隆寺夢殿近くに移設除幕を実施した。

(展示) 春は旧館で「ありがとう39年～収蔵品で綴る物語展」(4月1日～5月25日、入館者2431人)、移転に伴う休館(5月26日～7月31日)、特別展「會津八一の奈良～『鹿鳴集』の世界～」(8月1日～9月28日、4276人)、秋の企画展「喫茶去の世界～會津八一と茶の湯～」(10月10日～12月14日、2351人)、冬季企画展「會津八一と斑鳩の里」兼「第8回写真コンテスト入賞入選作品展」(平成27年1月4日～3月29日、1746人)を開催。2か月余休館したが、総入館者数は10804人で、前年度比81.5%増と移転効果が顕著だった。

(講演会) ①「會津八一と絵手紙」(講師：神林恒道館長) ②「国造りとリーダー」(講師：森本公誠・東大寺長老) ③「薬師寺と會津八一」(山田法胤・薬師寺管主) ④「私の茶の湯」(講師：川上宗雪・江戸千家家元)。学芸員の出前講座は7回。このほか、にいがた文化の記憶館と共同で、新潟大学人文学部の後期講座「地域文化論～日本文化を支えた新潟人」(受講生27人)として、館長4回、事務長6回、学芸員各1回(記憶館2名を含む)で総計15回開催した。

(イベント) 4月19、20日、旧館にお別れする最初で最後の「茶会と観桜会」を催し好評を博した。第8回写真コンテストでは表彰式・講評会・祝賀会を実施。入賞入選作品巡回展を東京早稲田、奈良斑鳩町、奈良市、愛知春日井市、京都市、胎内市の6か所で開催した。

2、事業の内容

(ア) 展覧会事業 常設展(経費2,846,597円)=前年度2,110,291円比34.9%増

特別展(経費6,230,871円)=前年度3,174,061円比96.3%増

	25年度 入館者数	25年度 開催日数	26年度 入館者数	26年度 開催日数	26年度 入館累計
4月	485	23	828	26	828
5月	886	27	1603	22	2431
6月	590	26	0	0	2431
7月	406	23	0	0	2431
8月	461	27	1753	27	4184
9月	551	25	2523	25	6707
10月	499	23	776	19	7483
11月	722	26	1241	26	8724
12月	140	7	334	12	9058
1月	585	24	659	24	9717
2月	290	24	461	24	10178
3月	337	20	626	25	10804
合計	5952	275	10804	230	

26年度観覧料収入=特別展2,727,800円 常設展1,780,440円(前年度総額1,768,080円)

(イ) 展示事業＝記念館自主企画

【特別展】

○會津八一の奈良～歌集『鹿鳴集』の世界～

会 場：新潟市會津八一記念館

主 催：新潟日報社、BSN 新潟放送、新潟市、公益財団法人會津八一記念館

会 期：平成 26 年 8 月 1 日～9 月 28 日 開催日数 52 日間

入館者数：4, 276 人（前年度：第 3 弾「街の中の會津八一」1266 人）

新潟日報メディアシップに移転して柿落しの展覧会。奈良をテーマに、東大寺、法隆寺、薬師寺、唐招提寺などに残る作品資料を展覧し、會津八一の学芸と奈良の魅力を紹介した。また、新しい記念館の誕生に合わせて、中宮寺から誕生釈迦仏立像にお出ましいただいた。薬師寺東塔や東大寺金剛力士像の実物大レプリカなどサイズの大きな作品が並んだ。また、入江泰吉、小川晴暁の写真や杉本健吉の絵画は、入館者に奈良の風光と美術をイメージしやすくさせたようで、反響が大きかった。通常、夏期開催の展覧会は春秋に比べて集客は難しいとされるが、落慶法要などのイベントもあり、入館者数は 2 年前の承天閣美術館展以来となる 4000 人を突破。アンケートを見ると旧記念館と比較した意見もあったが、概ね好評価をいただいたようである。照明やキャプションなどの展示方法、文化の記憶館やビル管理、メディアシップ企画部との連携を密にすることは今後の課題となった。

【企画展】

①～ありがとう 39 年～収蔵品で綴る物語～

会期：平成 26 年 4 月 1 日～5 月 25 日 開催日数 48 日間

入館者数：2, 431 人

（前年度『春の海』の作曲家・宮城道雄生誕 120 年記念－藝に遊ぶ－「會津八一と宮城道雄」1,961 人）

慣れ親しんだ西船見町での最後の展覧会。2011 年から 13 年までの 3 年間で新たに収蔵した作品を中心に、当館スタッフが収蔵品からお勧めの作品を選出するコーナーを加えた 7 つのテーマをオムニバス形式で紹介した。展覧会の評価は高かった。また期間中、館長室をはじめ一般公開し、記念館の桜を愛でながらお茶をふるまう観桜会を企画。当日のテレビ放映の効果で、二日間で 300 人の来館者を記録した。また、最終日と前日を無料開放したことで、近隣市民の来場が多かった。移転を新聞、テレビなどで放送されたこともあり、これがきっかけで来館した人も多く見受けられた。西船見町や建物から離れる事を惜しむ声が多く寄せられた。

② 會津八一と茶の湯～喫茶去の世界～

会期：平成 26 年 10 月 10 日～12 月 14 日 開催日数 57 日間

入館者数：2, 351 人（前年度「會津八一の旅と出会い 陶芸家斎藤三郎生誕 100 年」1418 人）

八一と茶の湯をテーマに企画。昭和 30 年 4 月、北方文化博物館分館で開催され八一も関わった石州流茶会の茶道具、禅語を揮毫した八一の書作品を展示した。また、北方文化博物館の庭園整備を手掛け、茶の湯の造詣も深かった名庭師・田中泰阿弥（たなかたいあみ）と八一との交友、八一の芸術に影響を受けて、自身の茶の湯に取り入れた江戸千家家元・川上宗雪氏の美術コレクションなども紹介した。「普段見られない茶道具等拝見できよかった」「流派が違うが興味深く拝見した」「田中泰阿弥のことを知ることができ大変良かった」などの感想をいただき、茶道関係者をはじめ、女性の入館者が割合多かった。新聞での広報による来館者が前年度比 8% 増。日報の広告媒体を有効に利用する工夫を今後継続していきたい。

③法隆寺歌碑建立記念「會津八一と斑鳩の里」新春特別展示 柳原白蓮 佐渡にて詠める短歌

同時開催第 8 回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品展

会期：平成 27 年 1 月 4 日～平成 27 年 3 月 29 日 開催日数 73 日間

入館者数：1, 746 人（前年度「會津八一と酒の文化」1,307 人）

平成 26 年 11 月 7 日に法隆寺に歌碑が建立されたことを記念した展覧会。斑鳩町には現在 6 基の八一の自筆自詠歌碑があり、その拓本を中心に紹介した。3 月にはその内 4 基を刻んだ世界的に活躍する石工・左野勝司氏に講演いただいた。また、NHK 朝の連続テレビ小説で登場人物のモデルとなり話題になった歌人・柳原白蓮と新潟にまつわる作品を展示。白蓮の父の柳原前光が初代「萬代橋」の看板を揮毫していたことに驚いた来館者も多かった。「萬代橋」看板は普段近く（万代クロッシング）にあるが、初めて注目した人も多かったようだ。また写真コンテストの入賞入選作品展は廊下で展示することとなった。昨年度の同時期の展示よりも 400 人以上入館者が増加。ここ数年冬季の展覧会は 1000 人前後だったが、移転一年目としては幸先のいいスタートとなった。

(展示に対する評価) = 入館者アンケート結果 (+ = 好評、 - = 不評)

回答者数 699 名 (回答率 6.5%)

展覧会名	作品解説の評価		展示量の評価		全体的評価	
ありがとう39年	+90%	-7%	+83%	-15%	+94%	普通 6%
會津八一の奈良	+83%	-15%	+71%	-26%	+95%	普通 4%
會津八一と茶の湯	+88%	-10%	+83%	-15%	+95%	普通 3%
會津八一と斑鳩の里	+86%	-13%	+76%	-22%	+94%	普通 5%
合計	+86%	-12%	+78%	-20%	+94%	普通 4%

(接客に対する評価) 良い 69% 普通 29% 悪い or 無回答 2%

★総括＝ 移転前と移転後、規格の内容の差はあるが、全体的評価と作品解説では割合に大きな変動はなかった。一方で、展示量は展示室の狭さ、文化の記憶館との共催の際の入場料の高さで不満を述べる来館者も少なくなかった。また、アンケートを見ると県外者の割合が大幅に下がった。多数のメディアに露出も影響し、新聞、放送を見て来館した入館者の割合が増加。中には、旧記念館を懐かしむ声、館の狭さ、料金の高さを指摘する声が多くあった。駐車場料金が高いとの意見も開館以後継続してある。

(主な来館者) ※当館理事、評議員は除く

- ・ 4 月＝篠田昭新潟市長、野沢慎吾セコム会長、徳永健一近美館長、佐藤隆夫 BSN 事業局長、中野進夫妻、北嶋藤郷先生 (19 日) NST 吉田専務、山本修巳氏 (佐渡) 協力企業・今成一家、横山新津美術館館長 (20 日) 生涯学習センター三保恵美子所長 (24 日) 久保田正子氏 (ノンフィクションライター、29 日)
- ・ 5 月＝梶山弘子氏・小笠原清氏 (小林正樹監督遺託業務世話人会理事、9 日)、見附市・やまぼうしの会絵手紙の会団体 (15 日)、裏千家松山支部 (16 日) 笹祝酒造社長 (23 日)
- ・ 6,7 月＝移転引越し作業の為、7 月 31 日まで休館
- ・ 8 月＝有馬頼底京都仏教会理事長、長澤香静事務局局長、森本公誠東大寺長老、多川俊映興福寺貫首、石田智圓唐招提寺長老、山田法胤薬師寺管主、大野玄妙法隆寺管長、大野正法執事、大野玄道師、日野西光尊中宮寺門跡、島野尊章師、泉田玉堂大徳寺松源院住持、和田博祐新潟県仏教会会長、小城利重斑鳩町長、大橋一章早稲田大学名誉教授、川尻秋生早稲田大学會津八一記念博物館副館長、平田保雄日本経済新聞社会長 (1 日) 團原宗蒲裏千家新潟支部幹事長 (6 日)、村山稔 NST 相談役 (9 日)、オーテス・ケーリ (ホノルル捕虜収容所情報将校) の妻アリス (94) と娘 2 人と長男嫁 4 人組 (15 日) 薬師寺高次喜勝師、西山厚帝塚山大学教授、荒木美和 NHK アナウンサー、末村誠規日本人材研究所社長、同五十棲恵子マネジャー、五十嵐公子日本メイクアップ学院主任講師、早福弘新潟県企業局長 (16 日) 川上宗雪江戸千家家元、長男博之氏、中野宗順女史 (19 日)
- ・ 9 月＝小林中村屋取締役、河野課長、太田学芸員、瀬戸田財界新潟社長 (2 日)、三条・嵐南公民館団体 (6 日)、山田法胤薬師寺管長、村上粋なクラブ (7 日)
- ・ 10 月＝小須戸支部公務員退職者団体 (10 日)、増田孝氏 (古文書研究者、12 日)、ドナルド・キーン氏 (14 日)、橋本新潟大学旭町展示館館長 (19 日) 公務員連盟豊栄支部団体 (22 日) 岡野智子細見美術館上席研究員 (25 日) 文虫研三浦所長 (28 日)
- ・ 11 月＝豊栄中高年大学団体 (1 日)、吉田翠朋石州流怡溪会代表 (2 日)、富山県・書幹社クラブ団体 (6 日)、坂井孝雄 N I C 亀田西販売店長、すばるワークセンター団体 (28 日)
- ・ 12 月＝日報カルチャー江川教室団体 (12 日)
- ・ 27 年 1 月＝小城恵美斑鳩町長夫人 (8 日)、中嶋浩上越総合博物館館長 (9 日)、観世流能楽師山階弥次氏、フカミ美術団体 (10 日)、長谷川義明良寛会会長 (14 日) 中条會津八一会団体、日報労働組合執行委員長河野氏 (15 日) 中国西安市留学生 (16 日) 台湾：李氏 (20 日)
- ・ 2 月＝深滝合同事務所会長、深滝信夫氏 (6 日)、新潟観光コンベンション協会団体 (27 日)

- ・3月＝新潟眼鏡院上田社長（6日）左野勝司氏、佐渡観光大使（11日）小林勝喜シャープ産業会長（13日）
今井昭友県書道協会参事（21日）、見附拓本サークル（24日）十日町市議会議員7人（吉村市議が引率）
シネウインド齋藤代表、加藤僖一氏（25日）丹呉泰健日本たばこ産業会長（26日）

（ウ）講演会事業

①八一祭記念講演会（有料 500円）

【講演】

テーマ：「国造りとリーダー」～聖武天皇の選択～

講師：森本公誠師（東大寺長老）

日時：平成26年8月1日（金）午後2時～3時30分

会場：日報ホール

入場者：288人

②特別展関連 講演会（有料 500円）

テーマ：「薬師寺と會津八一」

講師：山田法胤師（薬師寺管主）

日時：平成26年9月7日（日）午後2時～3時30分

会場：日報ホール

入場者：240人

③企画展関連 「アートコミュニケーション2014」新潟日報メディアシップ×新潟市會津八一記念館 新潟の茶の湯文化に触れる—お茶会と講演会—（有料 500円）

日にち：平成26年11月16日（日）

ア) 記念茶会 時間：午後12時～午後1時30分

1席：午後12：00～午後12：40 参加者64人

2席：午後12：50～午後 1：30 参加者65人

イ) 講演会 午後2時～3時40分

第1部 講師：川上宗雪氏（江戸千家十代家元）

テーマ：「私の茶の湯 -會津八一との出会いを通じて-」

第2部 対談：川上宗雪氏 聞き手：神林恒道（新潟市會津八一記念館館長）

テーマ：「近代の数寄者と新潟の茶の湯文化」

会場：メディアシップ 20階 そらの広場

入場者：154人

主催：新潟日報社、新潟市會津八一記念館

協力：江戸千家新潟不白会

④第1回文芸講演会

テーマ：「會津八一の絵手紙」

講師：神林恒道 會津八一記念館館長

日時：平成26年5月17日（土）午前10時～午前11時30分

会場：クロスパルにいがた 映像ホール

入場者：86人

（エ）普及活動事業

①作品解説会

○新潟市會津八一記念館企画展＝講師：喜嶋、湯浅学芸員

会期中第2、4日曜日 午前11時～12時

②出前講座=その他の団体主催による講演

- ・ 4月27日(日)～30日(水) 同行解説「會津八一『渾齋隨筆』と花咲く春の大和路4日間」ツアー
主催：新潟日報旅行センター 講師：喜嶋学芸員 27人
 - ・ 5月23日(金) 講演「會津八一の魅力 胎内市ゆかりの文人」
主催：中条會津八一会 会場：築地農村環境改善センター 講師：湯浅学芸員 70人
 - ・ 7月9日(水) 講演「會津八一の魅力」
主催：市政さわやかトーク宅配便 会場：坂井輪公民館代替地 講師：湯浅学芸員 10人
 - ・ 8月2日(土) まち歩き文学講座 講演「會津八一について」
主催：まちなかの文学を歩く会 会場：教育会館 講師：喜嶋学芸員 35人
 - ・ 10月28日(火) 同行解説「八一足跡巡りバスツアー 會津八一ゆかりの北信濃を旅する」
主催：秋艸会 講師：喜嶋学芸員 27人
 - ・ 新潟大学授業 講義「日本文化を支えた新潟人」 主催・会場：新潟大学 受講者 27人
 - 10月3日(金) オリエンテーション 新潟の歴史とその文化的土壌 講師：武藤事務長
 - 10月10日(金) 越後の自由民権運動 講師：武藤事務長
 - 10月17日(金) 市島謙吉と新潟の新聞界 講師：武藤事務長
 - 10月24日(金) 越後の私塾と漢学の伝統 講師：武藤事務長
 - 10月31日(金) 宮古島人头税と中村十作 講師：武藤事務長
 - 11月28日(金) 明治美術界の双璧 小山正太郎と岡倉天心 講師：神林館長
 - 12月5日(金) 日本画の巨匠たち 小林古径と土田麦僊 講師：神林館長
 - 12月12日(金) 良寛禅師の発見者 會津八一と相馬御風 講師：喜嶋学芸員
 - 12月19日(金) 医学と医術あるいは医師と医者 講師：神林館長
- 平成27年
- 1月9日(金) 野口英世を支えた歯科医師石塚三郎 講師：武藤事務長
 - 1月23日(金) 反骨の系譜 北一輝と大杉栄 講師：神林館長
 - 2月6日(金) 戦時下の上越文化 講師：湯浅学芸員
 - ・ 2月9日(月) 講演「心のふるさと」
主催：中条プロパスクラブ 会場：中条グランドホテル 講師：喜嶋学芸員 30人
 - ・ 3月1日(日)～3日(火) 同行解説「會津八一の奈良の歌碑ツアー」
主催：朝日旅行 講師：喜嶋学芸員 11人

(所蔵品貸出展覧会)

- ・「濱谷浩 會津八一肖像写真展」
6月7日(日)～10月6日(火) 所蔵品25点貸出 北方文化博物館分館
- ・「万葉集展—いにしへの心をたずねて—」
12月20日(土)～平成27年2月8日(日) 所蔵品13点貸出 徳島県立文学書道館
- ・第7回秋艸道人賞写真コンテスト入賞入選作品 巡回展
4月1日(火)～4月19日(土) 早稲田大学會津八一記念博物館
6月1日(日)～6月9日(月) いかるがホール
6月14日(土)～6月29日(日) 奈良県立図書情報館
7月1日(火)～7月13日(日) 春日井市道風記念館
8月4日(火)～10月9日(木) 相国寺承天閣美術館
11月6日(木)～11月9日(日) 胎内市産業文化会館

(オ) 学習講座 (参加者負担)

- ・會津八一の歌を読む会 講師：若月忠信氏 (文芸評論家)
砂丘館 毎月第1土曜日 受講者12人

(カ) イベント

- ① 「會津八一の歌を映す」第8回秋艸道人賞写真コンテスト (総事業費2,386,282円)
 - ・公募期間 4月から11月14日 (作品搬入11月5日～15日)
 - ・応募点数 107点
 - ・応募人数 68人 (県内43人 県外25人)
 - ・審査委員 浅井慎平 (委員長)、塚原史、若松保広、和泉久子、神林恒道の5氏
 - ・審査会 11月30日(日) 14時～17時 ホテルオークラ
 - ・審査結果 秋艸道人賞に新潟市の渡邊繁雄さん
奨励賞は7点 (合計7人、県内6人、奈良県1人)
入選は22点 (合計20人、県内13人)
 - ・記者発表 12月1日 午前10時30分～
新潟市政記者クラブ 浅井委員長、神林館長、武藤事務長
 - ・授賞式・作品講評会＝審査委員と受賞者の対話方式 (入場無料)
27年1月31日(土) 午後2時～4時 クロスパルにいがた 参加人数89人
 - ・祝賀会 (参加者負担) 午後5時～6時30分 ホテルオークラ 参加人数43人
- ② 會津八一記念館 館碑除幕・竣工式・落慶法要
日 時：平成26年7月31日(木)
会 場：メディアシップ みなと広場 日報ホール
参加者：242人
- ③ 法隆寺歌碑「ちとせあまり」「あめつちに」除幕式
日 時：平成26年11月7日(金)
会 場：法隆寺
参加者：120人
- ④ 観桜会 (呈茶席あり)
日 時：平成26年4月19日(土)20日(日) 午前10時～午後4時
会 場：會津八一記念館 館長室 (旧記念館)
参加費：無料
入場者：300人

(キ) 鑑定会 (経費 183,165 円)

春の部 平成 26 年 5 月 27 日 (火) 総点数 20 点 認定数 13 点 収入 590,000 円
秋の部 平成 26 年 10 月 26 日 (日) 総点数 15 点 認定数 13 点 収入 540,000 円

(ク) 新収蔵品

○寄贈 會津八一の墨蹟 41 点 (故會津泰三コレクション)
會津八一書簡 26 通
ほか 3 点
計 70 点

○寄託 會津八一書簡 小林正樹宛 44 通
與奥田勝書 1 点
ほか 4 点
計 49 点

(ケ) 販売活動

・「学規」割引セール 実施期間 26 年度 (26 年 4-5 月、27 年 2-3 月)
額装 12 点 未表装 4 点 色紙 53 点 販売合計 283,380 円

(コ) 広報活動

①新聞 (記事掲載は県立図書館データベースより會津八一関連記事を検索)
〔新潟日報〕 記事 87 回 広告 69 回 (複製学規 13 回 展覧会 56 回)
〔朝日新聞〕 記事 2 回
〔読売新聞〕 記事 1 回
〔産経新聞〕 記事 1 回
〔柏崎日報〕 記事 1 回

②テレビ、ラジオ

〔BSN新潟放送〕
ニュース
2014 5月24日 昼ニュース 50 秒 會津八一記念館移転前の最後の展覧会
7月30日 Nスタ 54 秒 會津八一記念館内紹介
7月31日 Nスタ コーナー 1分35秒 會津八一記念館竣工式
8月1日 Nスタ 35 秒 會津八一記念館移転オープン
11月10日 Nスタ コーナー 1分05秒 會津八一の歌碑が法隆寺に建立

テレビPR

2014 8月 2日～9月26日 會津八一メディアシップ移転 會津八一の奈良 89本

ラジオPR

2014 会期中 ラジオ生放送番組に 生原稿対応 (その日の空き時間帯での対応)

〔NST〕

・ニュース 1本

〔NHK〕・新潟ニュースとラジオ PR

③市報にいがた

展覧会、講演募集 = 4回

(サ) 学校団体見学

4月15日	新潟市立小合中学校	8人
17日	新潟市立小新中学校	118人
5月1日	東新潟中学校	5人
8日	三条第一中学校	5人
13日	臼井中学校	4人
17日	東京学館新潟高校	43人
20日	新潟市立上山中学校	5人
9月9日	新潟市立大形小学校	11人
10月29日	新発田市立猿橋中学校	17人
11月7日	新潟豊学校	13人
12月12日	新潟大学	18人
27年		
1月30日	新潟清心高校	206人
2月19日	江南高等特別支援学校	12人
20日	新潟市立新潟小学校	46人